



平成 20 年

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

本年も宜しくお願い申し上げます。

北海道インテリアコーディネーター協会

会 長 中 村 雅 彦



新春のお喜びを申し上げます。

昨年は当協会の様々な活動に多大なご協力をいただきありがとうございました。

当会には幾つかの事業があり、その一つ、「暮らしから考える北のデザイン研究会」は昨年で3年目を向かえ1年目・丸谷博男先生、2年目・織田憲嗣先生、3年目には本田榮二先生・白瀬哲夫先生・小林孝二先生をお招きしセミナーの開催ができた事は当会にとり大変、実のあることでした。セミナーは会場だけではなく、冊子の刊行により会員の皆様に内容を紹介し、その知識を共有することが出来ました。また、講師の先生方とのお話ではいろいろな意味でインテリアコーディネーターという職を考えさせられ、勉強させられました。私は折に触れ、「五感性心」の必要性を伝えています。一自然の中で五感を鍛え養い色々な中で感性を磨き作品に気持ちを投入健全な心を養うーそういう考え方で仕事に向かっていただきたいと思います。それと楽しみながら仕事に向かう姿も必要に思い、すすめています。2年目の織田先生から「リデザイン」というお話を聞き、歴史的流れでデザインを見てもそう感じる事が多く、それはモノ真似ではなくて必要性から生まれてくるものであり、美を追求して生まれてくるものだと思います。それはインテリアコーディネーターとしても必要なことだと考えさせられ、その為にもセミナーは皆様に参加して頂きたいと思います。

北海道インテリアコーディネーター協会は今年もテーマを決め、講師をお招きしてセミナーを開催して行きたいと考えています。またスキルアップのため会員によるセミナーも開催し見学会等も含めて事業展開し広報誌トドスも発行してまいります。

これからも一つ一つの積み重ねで北海道の暮らしに合うインテリアを追求し全国に発信して行きたいと考えています。昨年お世話になった関係者の皆様方に深く感謝申し上げ、また今年もご協力いただけますよう宜しくお願い申し上げます。

北海道インテリアコーディネーター協会 事業部長 清水 昇

新年あけましておめでとうございます。

本年も皆様にとって良い年でありますよう、ご祈念申し上げます。

昨年はいろいろな活動に、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。



事業部長として、皆様に満足していただける仕事が出来たかどうかは？？ですが、会員の助言と叱咤激励で何とかやってこられたと思っております。今年も多く情報を提供させていただき、少しでもお役に立てるような活動をして参りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

昨年よりトドスの発刊を再開し、大変好評をいただいております。また暮らしから考える北のデザイン研究も3年間の集大成を行い、新たな研究に向う年になります。HICAは今年も正会員・準会員・賛助会員の皆様を柱とし、会員皆様に主としたセミナーの開催、情報スタジオ、そして見学研修会、サマーパーティー等をアクティブに実施して参りたいと思います。併せて、暮らしから考える北のデザイン研究とトドス発刊をいたします。皆様のご参加をお待ち申し上げます。追伸：昨年事務局移転後、メール発信に不備があり、大変ご迷惑をおかけ致しましたことを深くお詫び申し上げます。

編集後記

編集スタッフ 中村ゆかり㊞ 増永佳奈㊞ リカちゃん㊞

昨年、協会の活動を再開しトドス編集担当になり、たくさんの方とお会いすることが出来ました。また色々な行事に参加し大変有意義な年でした。今年も、もっともっと皆様に楽しんでいただける、役立つトドスを作って行きたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。メンバーは本業を抱えながらの編集作業です。新年何か新しいことを始めたい方、お手伝いご意見投稿など大歓迎です㊞。

トドス N3号

発行日 平成 20 年 1 月 23 日

発行人 北海道インテリアコーディネーター協会

札幌市東区北 13 条東 1・10 j'sense 札幌

Tel : 011・788・7055 Fax : 011・788・9935

事務局 E-mail

hokkaidou-ica@hica.co.jp

発行責任者 中村ゆかり



平成 19 年度 11 月～平成 20 年 1 月 活動報告

平成 19 年 11 月 28 日 第 3 回

暮らしから考える北のデザイン研究会セミナー

12 月 19 日 第 9 回幹事会

平成 20 年 1 月 16 日 第 10 回幹事会

1 月 23 日 トドス N3 号発行

(社) インテリア産業協会 北海道支部

支部長 渡 辺 直 行



あけましておめでとうございます。

昨年は当協会北海道支部の活動に多大なご協力をいただきありがとうございました。

比較的安定して推移した 2007 年の景気も、冬場にかけての急激な原油価格の高騰により一気に冷え込んでしまいました。しかし不安定な時代だからこそ、私たちは健康的で美しい暮らしを実現するための使命を担っているのだと思います。

近年、欧州では日本の住文化やインテリアがトレンドになり始めています。今まで日本人が作り上げてきた簡素でありながら豊かな住まい方が、彼らに大きな影響を与えているのです。農業国として時を重ねた日本では、人間関係や自然との関わり方において、分かち合い共存することの上に独特の価値観や美意識を築いてきました。この日本性こそが 21 世紀を生きるキーワードであることを彼らは直感し、形から日本を取り入れようとしているように思えます。

私たちは、インテリアをデザインする上で、欧米を手本にすることが先進的であると思いがちです。しかし、インテリアの世界でも強みは足元にあるのです。日本の家具インテリア産業にもっと自信を持たなければなりません。2008 年も皆様の御協力をお願い申し上げます。

「2008. 3. 26 開催 TIC こんな部屋いいな コンテスト」 審査経過報告

平成 19 年 12 月 5 日 (水) 13:00～17:00 木工センター会議室

12 月 5 日 (社) インテリア産業協会北海道支部の「こんな部屋いいな」の審査に行って来ました。札幌市内小学生対象の絵画は約 2,500 枚の応募数で、前回は 1,800 枚でしたので 700 枚ほど増えました。・・・(苦) トータルインテリアキャンペーン開催のときに展示と表彰式があり、当協会が高学年の表彰をすることになりました。審査した人が表彰してほしいとのお話ですので、私が担当いたします。 ◆清水

北海道インテリアコーディネーター協会 総務部長 岸田恵子

謹んで年頭のご祝辞を申し上げます。

今年も良い年でありますように皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

今年度の総会ではたくさんのご意見を頂戴しました。それにより改めて、いろいろな角度から考える機会を頂戴しました。予算にあつては、予備費も含め会費をより有効に活用すること。会員の方に喜んで頂ける様、どのように配分していくか。「予算を詰めた活動は本来ではない」というご指摘から総会後予算は修正させて頂きました。HP 更新、休刊となっておりました“トドス”も発行することが出来ました。会員の皆様と、共により良い方向へと考えております。今後ともご意見、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。又、名簿の改正の折には、皆様にご協力を頂きありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

鼠年は“小回りが利く”“食いつばぐれがない”といわれているようです。昨年は確認申請手続きの変更もあつてか後半は特に厳しい状況でした。大当たりがなくても皆が小当たりするような、そんな 1 年になったらいいなと思います。



お正月休みはいかがでしたか？私は田舎で、のんびり過ごしました。時間をじっくり確かめながら心穏やかに過ごす贅沢、慌ただしい日常で久しく忘れていた感覚でした。こたつ+みかん=ぐ〜たらは最高(笑)。そして心身共に充電完了！！ですが、早速お休みが恋しい今日この頃です(涙)。今年も頑張るぞー！！本年もトドスを宜しく願い致します。㊞ 初春や トドスひらきて 福来り ㊞

新年明けましておめでとうございます。トドス毎号で報告をさせて頂いているので、そろそろ“おなじみ”になっていると嬉しく思います。 お話は昨年に遡りますが、11月28日（水）札幌市かでの2・7にて『暮らしから考える北のデザイン研究会（略称：暮研）』の第三回セミナーを開催致しました。 当研究会が誕生して3年目。インテリア産業協会の支援事業として発足した当初より“三年計画”と目標を定めており、今期がその最後のまとめの年となります。最終セミナーを目前にし“あらためて北海道を見つめてみよう”という声から、北海道開拓に於ける建造物を数多く移築・復元している“北海道開拓の村”の話題となり早速問合せをしたところ、北海道開拓記念館にて主任学芸員を務めていらっしゃる小林孝二氏に講師依頼をご快諾頂き、今回の第三回セミナーが実現しました。研究会内ではこの頃から既に『北海道開拓の村に行こうツアー』の話でもちきりでしたが、“せっかく行くのであれば、これぞ北海道！な真冬に行こうではないか”ということで、この話は2月開催予定の見学会へと発展しました。 この研究会、相変わらずの好奇心旺盛ぶりで楽しいです（笑）。改めて事業部よりご案内致しますが、見学会へも皆様是非奮ってご参加下さいね！

さてそろそろ本編へ・・・

今回のセミナーは『北海道の建築と住まい』をテーマに講演頂きました。

小林先生は北海道開拓の村において歴史的建造物の修復保存を総合的に担当し研究をされています。そして一級建築士でもあるその観点から貴重なお話をお伺いすることが出来ました。その内容を私の感想も交えながらご紹介させて頂きます。

北海道の建築の歴史には大きく三つのルーツ（＝起源）があります。一つはアイヌ民族のチセなど先住者が受け継いできた建築です。二つ目は荒涼とした原野に開拓拠点をつくるための作業所・宿泊施設等の建設から始まり、当時の政府は温暖地出身者が中心であったため採用された建築様式は本州以南の風土で形作られた伝統的な和風建築技術でした。しかし、北海道の冬は彼らの想像を遥かに超える厳しさであり大量の犠牲者を出したその経験から、後に欧米にノウハウを求め、建物は洋造建築とし製材機械も輸入するなど徹底的な洋風化が図られました。これが北海道開拓の建築・住まいのルーツです。もう一つのルーツは“開港場回りの洋風建築”で、江差や函館のように物流と共に文化の交流場である港を拠点に息づいた洋風建築の文化も北海道の建築史に大きく影響しました。 しかし一方で庶民住宅はまだまだ防寒性に乏しい和風建築が多く、以降も防寒・断熱そしてストーブの普及など様々な政策が実施されました。 北海道の建築と住まいの歴史は雪と寒さに対する努力の足跡であると感じさせられます。そして現代に向けて、機能・性能そして生産性の向上や低コストであることに重点を置き構築されてきた住宅建築。今では雪の無い夏場には北海道も本州もまるで見分けがつかないような住宅団地が多くなってきています。また断熱・気密性の向上と暖房器具の発達により厳寒な北海道の冬も室内温度は本州以南の住宅よりはるかに暖かいのではないかとと言われるまでになりました。しかしこの変遷の中で失われてしまったものもあります。ストーブを囲んだ団欒の場がなくなり、寒さを利用した貯蔵場所の消失、北海道の住宅地の特徴ともいえる開放的でゆとりのある敷地構成も宅地開発の進展により失われつつあります。



セミナーではその他にも小林先生のご自宅のスライドでのご紹介や、修復の際に苦労する色彩のエピソードなどをお伺いするなど、とても充実した時間を過ごすことが出来ました。暮らしも住まいも時代と共に常に変化して行くものだからこそ、私達も常に気付いて学んでそして発信して行かねばならないのだと思います。現代はライフスタイルに興味嗜好そして価値観も多様化しています。だからこそ常に好奇心旺盛でいて、色々な事に興味を持って、かつフットワークを軽く！そんな活気ある研究会を今後も展開していきたいと思っています。

3月にはトータルインテリアキャンペーン in 北海道で研究発表会も予定しています。また今期も研究報告書として一冊にまとめ発行致しますのでそちらもお楽しみに・・・。

暮研委員長・増永

〈新しい年を環境から考える〉
北海道洞爺湖サミット 報道拠点は CO2 抑制



ケナフの花

皆様ご承知の通り、本年7月に北海道洞爺湖サミットが開催されます。そのため「国際メディアセンター」として「プレスセンター棟」「議長・各国首脳会見場棟」が平成20年3月完成予定ー建設費28億2千万円・鉄骨造・延べ床面積11000㎡ーで建設されます。発注者は北海道開発局で施設に採用される「環境に配慮した技術が決定」の中に「成長が早く、収穫できる繊維が多い事から近年注目されているケナフの内装材を、木材由来の製品に代えて天井や壁に使用」と新聞に掲載されていました。 そこで、年の初めのセミナーはケナフに早くから取り組んでいらっしゃる内装メーカー東リ㈱様にご協力をいただき、ケナフ紙漉き体験も交えて「ケナフ博士を目指して」の内容で開催しますのでご案内いたします。

記

- ・日時 平成20年2月8日（金）18：00～20：00
- ・会場 札幌市中央区南2条西9丁目 北海道東リ㈱ 会議室
- ・講師 東リ株式会社 事業本部研究開発部門長 執行役員 木寅 旦彦氏
- ・内容 ケナフ博士を目指して
- ・実習 ケナフ紙漉き 先着30名
- ・セミナー会費【 会員・準会員・賛助会員 500円 一般 1000円 学生 無料 】

申込書に以下をご記入の上、1月31日（木）までにメール又はFAXで事務局まで
氏名 会員・準会員・賛助会員・一般 （新年会）参加・不参加
会社名 連絡先・TEL

新年会案内

セミナー終了後、近くにて新年会を予定しております。
新春セミナーともに皆様のご参加をお待ちしています。

日時

平成20年2月8日（金）20：15～22：00

場所、会費等は後日連絡します



『北海道開拓の村』見学会案内

昨年11月28日開催の「第3回暮らしから考える北のデザインセミナー」で講師をしていただきました小林孝二氏が学芸員をなさっていらっしゃる、北海道開拓記念館隣接の『開拓の村見学会』を行います。札幌・函館の開拓史は、その始まりから寒地に建つ欧米の住宅をそっくり導入しました。北のデザインをどのように考えて行くのか、きっとここにはヒントがあると思います。

詳細は別紙見学会案内をご覧の上、事務局FAXまたはメールでお申し込み下さい。

開催日・平成20年2月20日（水）13：00 開拓の村 駐車場集合

入材料・¥680 駐車料・冬期無料 要・がっちり防寒 雪日決行

TIC 情報スタジオ参加会員募集案内

今年も（社）インテリア産業協会北海道支部 トータルインテリアキャンペーンがホテルロイトン札幌で開催されます。メインセミナーは『日本人の美意識について』柊野俊明氏（多摩美術大学教授 僧侶 庭園デザイナー）こんな部屋いいなコンテスト発表 IC団体セミナーなどです。 当会はこれにあわせ、昨年同様に情報スタジオを開催しますので会員皆様にご出展いただけますよう、宜しく願い申し上げます。

このイベントの告知方法はインテリアコーディネーター約1000通、一般生活者約500通と道新オントナ3月初旬に掲載予定です。

詳細は別紙参加案内をご覧の上、事務局FAXまたはメールでお申し込み下さい。

開催日 平成20年3月26日（水）10：00～16：00

申し込み 平成20年1月31日（木）まで

HICA事務局

FAX：011-788-9935

E-mail hokkaidou-ica@hica.co.jp